

平成29年度 第4回埴町地域公共交通活性化協議会

日時：平成30年3月27日（火）14:00～

場所：埴町勤労福祉会館2階 小研修室

－次 第－

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

報告事項

- (1) 報告第1号 平成29年度市町村生活交通バス運行実績について
- (2) 報告第2号 埴町地域公共交通網形成計画（素案）に係るパブリックコメント（意見公募）及び住民説明会実施結果について

議案事項

- (1) 議案第1号 埴町地域公共交通網形成計画について

4. その他

- (1) 埴町タクシー利用料金助成事業試行計画について
- (2) 平成30年度埴町地域公共交通活性化協議会について
 - ・埴町地域公共交通活性化協議会委員の委嘱について
 - ・平成30年度以降の事業の方向性について

5. 閉会



【平成29年度 第4回埴町地域公共交通活性化協議会名簿】

No.	団体名	所属 職名	氏名
1	埴町	副町長	小松 利顕
2	福島交通株式会社	白河営業所長	長田 春治
3	有限会社埴タクシー	代表取締役	鈴木 岳
4	有限会社ファミリータクシー	代表取締役	鈴木 創一
5	国道交通省東北地方整備局 郡山国道事務所	調査課長	板垣 浩美
6	福島県棚倉土木事務所	所長	馬場 靖
7	棚倉警察署	地域交通課長	佐藤 潤一
8	行政区画長連合会	会長	水野 信夫
9	埴町 PTA 連合協議会	会長	金澤 宏
10	埴町老人クラブ連合会	会長	木村 澄男
11	埴町青少年育成町民会議 (埴地区推進協議会)	会長	原 宗光
12	埴町青少年育成町民会議 (常豊地区推進協議会)	会長	佐藤 久次
13	埴町青少年育成町民会議 (笹原地区推進協議会)	副会長	金田 一徳
14	埴町婦人会	前会長	芳賀 とし子
15	埴町婦人会	会長	田子 富子
16	ふくしま自治研修センター	総括支援アドバイザー	吉岡 正彦
17	国土交通省東北運輸局 福島運輸支局	主席運輸企画専門官	牛渡 朋幸
18	福島県県南地方振興局	県民環境部主幹兼副部長兼県民生活 課長	鈴木 裕幸
19	埴町商工会	事務局長	芳賀 浩美
20	はなわ共栄会	代表	吉田 啓治
21	はなわよんく協同組合	理事長	鈴木 三直
22	埴町社会福祉協議会	事務局長	鈴木 雅人
23	埴厚生病院	事務長	石井 浩
24	福島交通労働組合白河支部	棚倉分会長	原 喜一

オブザーバー

1	埴町教育委員会	学校教育課長補佐	星 忠吉
---	---------	----------	------

事務局

1	埴町まち振興課	課長	金澤 祐介
2	埴町まち振興課	課長補佐	吉成 知温
3	埴町まち振興課	地域づくり係長	遠藤 安弘
4	埴町まち振興課	主査	鈴木 愛

委託コンサルタント

1	株式会社ケー・シー・エス		
---	--------------	--	--

平成29年度 第4回埴町地域公共交通活性化協議会

議事要旨

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

- ・ 報告第1号 平成29年度市町村生活交通バス運行実績について、資料に基づいた説明が行われた。
- ・ 報告第2号 埴町地域公共交通網形成計画（素案）に係るパブリックコメント（意見公募）及び住民説明会実施結果について、資料に基づいた説明が行われた。
- ・ 議案第1号、埴町地域公共交通網形成計画について資料に基づいた説明が行われた。

福島交通株式会社

- ・ 33 ページ下にバス路線の統合再編とあり、31 年が「矢印」になっているが、そこを下と同じく「随時実施」という形にした方が良いのでは。

埴町副町長

- ・ 30 ページ以降の「実施」という所、またその他の部分でも高城地区等については説明する。その他は「検討」という部分がかかなり大きいですが、決して何もしないという事ではなく、検討をしながら毎年 PDCA サイクルしていきましょうという事。

福島県県南地方振興局

- ・ パブリックコメントや住民説明会で意見をしっかり求めて集約し、反映させて良い形にするのは良い。
- ・ スマートフォンや Wi-Fi といった電子化された機能が活用出来ない方のフォローというのはこれから検討していくかと思うが、そういった方々についてもしっかり声を聞いて、住民全ての方が「こういうものが出来て良かった」という形になるように是非心掛けて頂きたい。
- ・ バスの乗り方教室を 30 年度から随時企画して実施するという事だが、新年度から県の方でも予算化し、埴町に限らず県内全体において「バスの乗り方が分からない」という方に、少しでも解消出来るように福島交通等の事業者の協力を得ながら進めていく方針。
- ・ 商工・観光振興策との連携は大変良い。健康の部分と絡めるのも良い。福島県民は健康を害している方も多くいるので、公共交通と健康の部分セットにして何か上手く合わせる事は出来ないか。

ふくしま自治研修センター

- ・ 27 ページで右側「中長期：6～10年」という事で、出戸・高城・田代で住民共同型の交通運行という記載がある。これはプロジェクトとしての落とし込みを見ると、例えば35ページの目標4-施策1の欄に該当するかと思う。一番下に「住民共同型交通の運行」とあり、これが先程のものを指していると思うが、このスケジュールを見ると平

成 33 年に実施となっている一方、上の方の文章を見ると「中長期」という形になっている。「中長期」が 6～10 年としながら、住民共同型の運行が平成 33 年に位置付けられているという所はこのままで良いのか。

KCS

- ・ スケジュール感と中長期の部分の書き方に少し違和感があるというのはご指摘のとおり。ただ実施というのが 33 年までに出来るかという部分もあるので、事務局で修正するような形で対応させて頂く。

ふくしま自治研修センター

- ・ スケジュールの方を遅らせるという考え方か。

KCS

- ・ 実施という所より検討を進めていく所を中心に記載させて頂きたい。

ふくしま自治研修センター

- ・ 39 ページのスケジュールも同様に「再掲」となっているので、39 ページも併せて見直しをして頂いた方が良い。住民の皆さんにご協力を頂けるという事は大変ありがたいが、それなりの時間が掛かるだろう。中長期的な扱いで良いと思うが、このスケジュールをもう少し遅らせるかあるいは 36 年以降のスケジュールで書き直すかという所で、その辺の整合性を取った方が良い。

埴町副町長

- ・ 「実証」を「実施」に持ってくるような形になる。ここは矢印でずっと持ってくるという風なイメージで良いか。
- ・ 35 ページの住民共同型の運行のスケジュールについて、32 年度の検討はそのままで、33 年度から 35 年度までは矢印で引っ張る。同じく 39 ページの「再掲」についても同様に、33 年度から 35 年度まで矢印という修正でお願いしたい。

国土交通省東北運輸局 福島運輸支局

- ・ 27 ページにおおむね 5 年が短期、6～10 年が中長期という風にある。路線バスの再編という話でも出ていたが、他の市町村や事業者と連携して進めて行くという前提もある。近隣市町村との協議会の立ち上げ等も少し時間を置いて、検討・設置というスケジュール感になっている所もあるので、優先順位を決めて上手く進めて頂きたい。

埴町副町長

- ・ 検討しながら出来るものは前倒しで実施していく。
- ・ 議案第 1 号、埴町地域公共交通網形成計画に関して、原案に今程の修正を加え、決定という事にさせて頂きたい。

4. その他

- ・ 埴町タクシー利用料金助成事業試行計画について、資料に基づいた説明が行われた。

事務局

- ・ 来年度福島県の方で公共交通に対する補助金の検討がある。5月から補助金の申請受付を開始し、6月に決定通知書が来るので、補助金を使ってタクシーの施行を行っていききたい。時期的には、補助金が早く決まるようであれば夏休み期間中等のバスが運休に入る期間を含む夏を想定して実施したい。補助金の関係で遅れるようであれば、今度は12月の冬期休暇を含めた3ヶ月間で実施出来れば。

塙町老人クラブ連合会

- ・ 高齢者は仕組みというものを充分理解していない人が多い。これからはどうやって住民の理解を深めていくかという事が重要。

事務局

- ・ 資料2の中の申請方法関係について、タクシー利用助成制度の内容について、今回は利用券を交付するという形だが、最初の検討の段階では利用者証を作って運転手に提示するという考え方をしており、その段階のものが一部残ってしまっているので訂正する。
- ・ 今回は登録をした人に月4回分の利用券を交付し、それをタクシー会社の方に渡して乗るという形で進めたい考えだったので、この「写真」と利用条件の「利用者登録証」という部分は削除して頂いて、利用券を運転手に提示するという考えで実施したい。

塙町婦人会

- ・ 塙町婦人会で「一人暮らしの高齢者見守り隊」というものをやっている。月に2回高齢者のお宅を訪問するので、そういう所でも利用して頂ければ。
- ・ (2) 平成30年度塙町地域公共交通活性化協議会について説明が行われた。

5. 閉会

以 上